

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

使用教科書：（ 新高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力wの向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。 定期考査	【指導事項】 ・内臓 ・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・学習レポート ・タブレットPC 【一人1台端末の活用】 ・振り返り/まとめ（Classi） ・調べ学習	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。	○	○	○	10
				○	○		1
2 学 期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解させる。 ・教科書の該当ページの内容を読み、概要や要点を把握し、それらをクラスで分かりやすくまとめて伝えたり、教えさせたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。 ・グループ内で協力し、自発性をもって授業を効果的に作り上げることができる。 ・テーマや内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり、書いたりすることができる。	【指導事項】 ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・学習レポート ・タブレットPC 【一人1台端末の活用】 ・振り返り/まとめ（Classi） ・調べ学習	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができる。 ・教科書の該当ページの内容を読み取り、概要や要点を把握している。また、それらを分かりやすくまとめて伝えている。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。 ・グループ内で協力し、かつ自発性をもって授業を効果的に作り上げている。 ・教科書の該当ページの内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり書いたりしている。	○	○	○	4
	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、またそれらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解させる。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、食品衛生法は、食品の安全確保のために制定された法律であること、またそれらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解させる。 【教材】 ・教科書	【指導事項】 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み 【教材】 ・教科書	【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、またそれらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解することができる。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、食品衛生法は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解することができる。				

3 学 期	食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解させる。 ・教科書の該当ページの内容を読み、概要や要点を把握し、それらをクラスで分かりやすくまとめて伝えたり、教えさせたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現できるようにする。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。 ・グループ内で協力し、自発性をもって授業を効果的に作り上げることができる。 ・テーマや内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり、書いたりすることができる。	・教科書 ・授業プリント ・学習レポート ・タブレットPC 【一人1台端末の活用】 ・振り返り/まとめ (Classi) ・調べ学習	ることかである。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。 ・グループ内で協力し、かつ自発性をもって授業を効果的に作り上げている。 ・教科書の該当ページの内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり書いたりしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や医療機関などを適切に活用することが必要であること、疾病からの回復や悪化の防止には医薬品を正しく使用することが有効であることを理解させる。 ・我が国や世界では、健康課題に対し様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解させる。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する健康づくりが重要であり、積極的に参加していくことが必要であることを理解させる。 ・教科書の該当ページの内容を読み、概要や要点を把握し、それらをクラスで分かりやすくまとめて伝えたり、教えさせたりする 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現できるようにする。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えさせる。 ・グループ内で協力し、自発性をもって授業を効果的に作り上げることができる。 ・テーマや内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり、書いたりすることができる。	【指導事項】 ・保険制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた健康づくり 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・学習レポート ・タブレットPC 【一人1台端末の活用】 ・振り返り/まとめ (Classi) ・調べ学習	【知識及び技能】 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や医療機関などを適切に活用することが必要であること、疾病からの回復や悪化の防止には医薬品を正しく使用することが有効であることを理解することができる。 ・我が国や世界では、健康課題に対し様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解することができる。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する健康づくりが重要であり、積極的に参加していくことが必要であることを理解することができる。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 ・グループ内で学習した内容から課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができる。 ・グループ内で協力し、かつ自発性をもって授業を効果的に作り上げている。 ・教科書の該当ページの内容について、他生徒との意見交換などを通して自分の考えを話したり書いたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							39